

武中の風



<発行>
鹿児島市立
武中学校
鹿児島市武 3-42-1

名付けの思いを今

校長 前田 浩二

令和六年度が始まりました。今年度の学校教育目標は「希望をもち、自立する生徒の育成」です。武中学校で様々な力を付け、希望をもって卒業してほしいと願っています。そして、社会に貢献できる、他の人のために行動できる人になってもらいたいと思っています。どうかご協力よろしく願います。

さて、新年度の生徒名簿を見ながら、「きつとこの子たちの名前には保護者の皆さまの様々な思いや期待が込められているのだろう。」などと想像を巡らせています。

私が小学生の時、自分の名前の由来を調べてくるという宿題が出ました。母に尋ねると、叔母が名付けてくれたということでした。叔母は昭和の名優「鶴田浩二」のファンだったので、その名にあやかっただけなのか。一応は納得しましたが、たった二人しかいない兄弟で名前に差があるような気がしました。私の兄は「博王」と書いて「ひろたか」と読みます。漢字の意味を考えるとなにやら勉強ができそうな名前です。そこで、自分の「浩」に

も意味があるのではないかと思つて、漢和辞典で調べてみました。すると、「水の広々としていること」とありま

した。ああ、きつと広い心をもった人になってほしいという願いが込められているのだろうと勝手に解釈して宿題に付け加えました。

月日が流れ私も中学生になり、名付け親の叔母と話をする機会があつて、私が生まれた時のことが話題になりました。出産時、父は職場にいたため、叔母が病院に付き添ってくれたそうです。叔母は父の職場に電話して、私が無事生まれたことを報告して、「浩二」という名前を提案しました。すると父は快諾し、こう言つたそうです。「おう、ちょうど今、追加の工事が入つてきたけん、その名でよか。」

名付けはいい加減でしたが、一生懸命育ててくれたので両親には感謝しています。しかも由来はさておき、「浩二」という名は、誰でも読めて呼びやすいので気に入っています。ただ、「前田」姓は多いので、同姓同名の人に何度も出会いました。そこで我が子には誰でも読めるけれども珍しい名前を付けようと思ひました。長女には「こうじ」の「こ」と妻の「しのぶ」の「の」を取り、間に「and」の意味で「と」を入れ「琴乃」と名付けました。長男は生涯一度も弱音を吐かなかつた幕末の志士「高杉晋作」にあやかり「晋作」

にしました。二男が生まれる時には知り合いから、「長男が晋作（しんきく）だから、最新作がいいのでは」と言われましたが却下しました。ちょうど中学三年生の担任をしており、出産が高校受験の頃と重なつたため、受験も出産も「だいじょうぶ」という意味で、この言葉から四音取つて「大二郎（だいじろう）」と名付けました。江戸時代の家族ですか？とからかわれることもありましたが自分ではよい名を付けたと思つています。子育ては大変でしたが、三人ともに成人し、それぞれ自分の道を歩んでいます。

さて、保護者の皆さま、思春期を迎えたお子様は一番揺れ動く時期で苦労も多いことと察します。そんな今だからこそ、お子様が生まれ、願いを込めて名前を付けた頃を思い出し、初心にかえつてがんばりましょう。お子様の話を聞いたり、褒めたり、叱つたりしてしっかりとお子様と向き合うことが大切です。学校は保護者の皆さまとがっちり連携していきたいと思ひます。

学校行事

【第七十八回入学式】

八日に新しい制服を身にまとつた百五十五名の新一年生を迎え、入学式を挙行しました。保護者や来賓の方々、生徒会執行部の生徒から祝福を受け、素晴らしい入学式になりました。新一年生が一日も早く学校生活に慣れ、楽



【新任任式】

令和六年度は白山教頭をはじめとして、六人の新しい職員が武中学校へ赴任しました。新しい職員と共に生徒の自立を促し、希望を持つて卒業できるように一緒に頑張つていきます。

【生徒徒会入会式】



十二日に一年生の生徒会入会式と部活動紹介が、体育館で行なわれました。生徒会役員が、生徒会専門部による活動内容の説明や学校の一日等をパワーポイントや寸劇を取り入れながら分かりやすく、楽しく説明しました。その後、武中学校にある部活動の紹介を三年生を中心に、行いました。

